



PRODUCT BRIEF
 インテル® Video Pro
 Analyzer 2015

H.265
 HEVC

VP9

インテル® Video Pro Analyzer 2015

詳細な HEVC および VP9 ソフトウェア解析とデバッグ

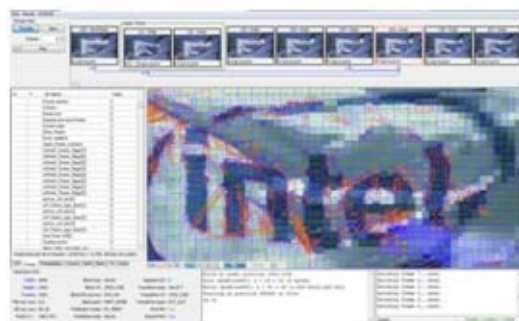
インテル® Video Pro Analyzer 2015 は、HEVC および VP9 ビデオコーデック向けのビデオ解析ソフトウェア・ツール・スイートで、デコードプロセス全体の視覚的な検証、統計情報の取得、デバッグなどを可能にします。Windows*、Linux*、OS X* で利用できます。

業界規格に準拠したビデオ製品を短時間で開発

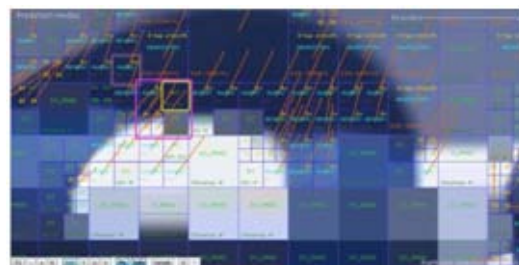
インテル® Video Pro Analyzer 2015 は、次世代のビデオ規格に準拠した製品の開発コストを抑え、開発期間を短縮できるように支援します。高度な機能により、簡単にコードフロー、ヒートマップ、動きベクトル、予測プロセスなどをグラフィカルに解析することができるため、新しいエンコーダーの開発とテスト、新しいビデオプレーヤーの作成、実装した次世代のビデオ・ソリューションの比較に伴うオーバーヘッドを完全に排除できます。ビットストリームを読み込み、主要なデコードプロセスを視覚化および数値化して検証したり、イメージの構造を調査することが可能です。このデータは、特定のエンコーダー/デコーダーのデバッグに使用したり、次世代のコーデックの仕組みを調べる際に役立ちます。

HEVC および VP9 ビットストリーム

ネットワーク・ストリーミング/インフラストラクチャーのコストの大半は帯域幅であり、将来のビデオ、ストリーミング、コンテンツ配信、ブロードキャスト、広告において、HEVC や VP9 などの次世代のコーデックが重要になりつつあります。ビデオの開発者、専門家、研究者にとって、複雑な次世代のコーデック・パイプラインを視覚化し、詳しく検証できるインテル® Video Pro Analyzer のようなツールは不可欠です。



コンソールはフレーム間の依存関係、構文の詳細を瞬時に把握し、9つのフレームレベルの視覚化を提供



予測モードとフレーム間の依存関係を瞬時に視覚化し、予測タイプ別に色分けして表示

必要な機能と詳細情報

インテル® Video Pro Analyzer は、トランスコード・パイプラインで特定の品質や機能の問題をデバッグできるため、ビデオ・プロジェクトの工数を数カ月短縮できる可能性があります。

開発段階の早期に、画質の低下につながるエンコーダーの不具合を迅速に特定できます。

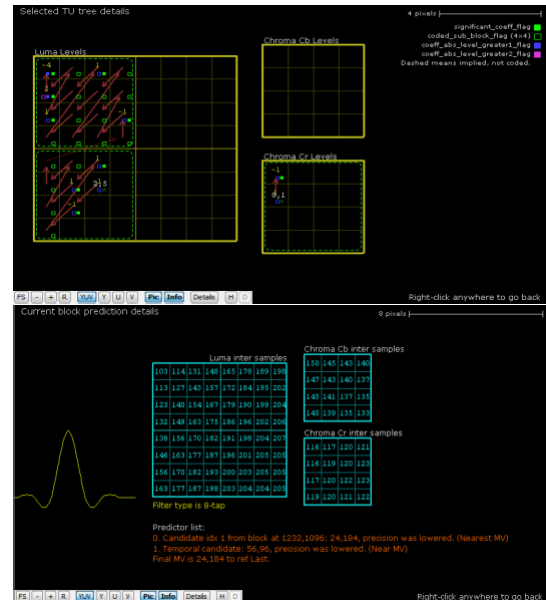
サポートされる機能

インテル® Video Pro Analyzer 2015 は以下の機能をサポートします。

- **ビットストリーム:** 8 ビットと 10 ビット HEVC (ISO/IEC 23008-2 MPEG- H Part 2 または ITU-T H.265)、8 ビット VP9。範囲拡張は規格で採用された場合にサポート予定。
- **オペレーティング・システム:** Windows*、Linux*、OS X*
- **フルフレームのビジュアル化機能:** コードフロー、コード単位、スーパーブロック、動きベクトル、変換単位、予測単位、予測情報、復元情報、残差情報、デブロッキング・エッジ、SAO 情報、フレーム参照
- **詳細ビュー:** 復元、予測、残差、デブロック/SAO、およびデコードピクセル
- **ビジュアルマップ:** ヒートマップ (bit per pixel)、効率マップ (bools per bit)
- **その他の主要機能:** YUV 比較、画像統計 (ピクセルまたはビットによる重み付け)、カウント、更新、適用情報を含む予測ツリー、エントロピー・エンジンの状態、構文要素、インター/イントラ予測とフィルター済みサンプルビュー、動きベクトル予測リスト、係数 (量子化前後と変換後走査順序)
- **リソース:** ドキュメント、ユーザーフォーラム、テクニカルサポート

将来のアプリケーション向けビデオ解析ツール

次世代の HD ワイヤレス・ディスプレイ、モバイル・ブロードキャスト、モバイル・デバイス・プレイバック、Web ストリーミング・ソリューション/アプリケーションなど、どのようなターゲットであっても、インテル® Video Pro Analyzer 2015 を利用することで、HEVC または VP9 ビデオコーデックの開発、研究、拡張の時間とコストを軽減することができます。



変換単位 (上) または予測単位 (下) を右クリックし、係数と個々の複雑な処理パイプラインの詳細を確認

30 日間の評価版: software.intel.com/en-us/intel-video-pro-analyzer

[データセンターおよび組み込みメディア・アプリケーション開発向けインテル® Media Server Studio >](#)

インテル® ソフトウェア製品のパフォーマンスおよび最適化に関する注意事項については、<http://software.intel.com/en-us/articles/optimization-notice/#opt-jp> を参照してください。

本資料に掲載されている情報は、インテル製品の概要説明を目的としたものです。本資料は、明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとらえずにかかわらず、いかなる知的財産権のライセンスも許諾するものではありません。製品に付属の売買契約書『Intel's Terms and Conditions of Sale』に規定されている場合を除き、インテルはいかなる責任を負うものではなく、またインテル製品の販売や使用に関する明示または黙示の保証 (特定目的への適合性、商品適格性、あらゆる特許権、著作権、その他知的財産権の非侵害性への保証を含む) に関してもいかなる責任も負いません。

「ミッション・クリティカルなアプリケーション」とは、インテル製品がその欠陥や故障によって、直接的または間接的に人身傷害や死亡事故が発生するようなアプリケーションを指します。そのようなミッション・クリティカルなアプリケーションのためにインテル製品を購入または使用する場合は、直接的か間接的にかかわらず、あるいはインテル製品やそのいかなる部分の設計、製造、警告にインテルまたは委託業者の過失があったかどうかにかかわらず、製造物責任、人身傷害や死亡の請求を起因とするすべての賠償請求費用、損害、費用、合理的な弁護士費用をすべて補償し、インテルおよびその子会社、委託業者および関連会社、およびそれらの役員、経営幹部、従業員に何らの損害も与えないことに同意するものとします。

インテル製品は、予告なく仕様や説明が変更されることがあります。機能または命令の一覧で「留保」または「未定義」と記されているものがありますが、その「機能が存在しない」あるいは「性質が留保付である」という状態を設計の前提にしないでください。これらの項目は、インテルが将来のために留保しているものです。インテルが将来これらの項目を定義したことにより、衝突が生じたり互換性が失われたりしても、インテルは一切責任を負いません。この情報は予告なく変更されることがあります。この情報だけに基いて設計を最終的なものとししないでください。

本資料で説明されている製品には、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があり、公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。現在確認済みのエラッタについては、インテルまでお問い合わせください。

性能に関するテストに使用されるソフトウェアとワークロードは、性能がインテル® マイクロプロセッサ用に最適化されていることがあります。SYSmark* や MobileMark* などの性能テストは、特定のコンピューター・システム、コンポーネント、ソフトウェア、操作、機能に基づいて行ったものです。結果はこれらの要因によって異なります。製品の購入を検討される場合は、他の製品と組み合わせた場合の本製品の性能など、ほかの情報や性能テストも参考にして、パフォーマンスを総合的に評価することをお勧めします。

最新の仕様をご希望の場合や製品をご注文の場合は、お近くのインテルの営業所または販売代理店にお問い合わせください。

本書で紹介されている注文番号付きのドキュメントや、インテルのその他の資料を入手するには、1-800-548-4725 (アメリカ合衆国) までご連絡いただくか、<http://www.intel.com/design/literature.htm> (英語) を参照してください。

本資料に記載されている TCO などのコスト削減シナリオは、状況固有の多数の変動要因が加わることで、特定のインテル製品の購入が今後のコストとコスト削減にどのように影響するかについて理解を深めることができるようにするためのものです。本資料の内容は、一定レベルのコストを保証または確約するものではありません。

© 2014 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。

Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。